

提案募集における新規追加の提案 及び判断の基準等の見直し等の提案

1. 本年度の提案募集の概要について
2. 新規追加及び見直し等の提案
3. 提案品目・提案内容に係る検討（物品・役務）

令和5年7月13日

1. 本年度の提案募集の概要について

■ 提案募集の概要

- ➡ 提案募集期間 : 令和5年4月28日～5月29日
- ➡ 提案件数 : 物品6件、役務4件、公共工事6件、分野横断1件の計17件※

○ 提案募集に当たっては、令和4年度に引き続き 温室効果ガス排出抑制やプラスチックの資源循環 に特に資すると考えられる提案とともに、カーボン・オフセットの取組の推進や需要の拡大 に向け、カーボン・オフセットされた製品・サービスの普及に寄与する提案を併せて求めたところ

※ 分野・品目等については提案者の申告によるものであり、今後の検討によって変更があり得る。提案件数であって提案品目数ではない

■ 提案品目及び提案内容に係る検討方針等

- ➡ 各品目の提案内容及び留意点等を踏まえた物品・役務の現段階における検討の方向性等については後述
- ➡ 必要に応じ、提案者に対する追加資料の提出依頼、ヒアリング等を行うとともに、提案品目に係る環境負荷低減効果、供給状況等を調査・確認し、新規追加又は判断の基準等の見直しの検討を実施

提案件数の内訳は資料3別紙1、提案内容の概要は資料3別紙2・3を参照

2. 新規追加及び見直し等の提案

- 新規追加の提案が**7品目**（物品・役務**3品目**、公共工事**4品目**）
 - 判断の基準等の見直しに係る提案が**8品目**※（物品・役務**5品目**※、公共工事**2品目**）
 - 分野横断（運用の仕組み）の提案が**1件**
- ※ 下記の文具類に係る提案については紙製文具類が対象であり品目数には加えていない

分野	品目等
文具類	すべての紙製文具 ^{注2} 、白板紙・色板紙を使用した紙製文具（消しゴムのスリーブ、ファイルなど） ^{注2}
オフィス機器等	電子式卓上計算機
その他繊維製品	不織布マスク ^{☆注4}
災害備蓄用品	防護服 [☆]
公共工事	【資材】再生中温化アスファルト混合物、再生材料を使用した盛土材、屋根用水性アクリルゴム防水工法 [☆] 【工法】循環式ブラスト工法 [☆] 、特殊針葉樹皮混合土を用いたクレー舗装工法 [☆] 、ハイブリッド・サイフォン送水工法 [☆]
役務	印刷 ^{注3} （2）、食堂、会議運営
その他（物品・役務）	食器 [☆]
分野横断（運用の仕組み）	原料としてバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックの使用 ^{注4}

注1：☆印の品目は新規追加提案品目（防護服、不織布マスク、食器、公共工事4品目）の提案

注2：紙製文具類について古紙パルプ配合率の引き下げ提案 注3：印刷は2件の提案（2者から同一提案）

注4：バイオマス由来特性が割り当てられたプラスチックを原料として使用することをプラスチック製の全品目へ適用（「不織布マスク」は他者の提案）

（1）新規追加提案品目

① 不織布マスク【その他繊維製品】

- ➡ 原料としてバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用した不織布マスク。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う国等の機関における調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況等を踏まえ、追加の可否、追加する場合の判断の基準等について検討を実施してはどうか
- ➡ 原料としてバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックの使用に関する取扱いについては、後述する既存品目に係る見直し提案と併せて検討を実施してはどうか

② 防護服【災害備蓄用品】

- ➡ 再生ポリプロピレン繊維を使用した防護服※。国等の機関における調達実績、環境負荷低減効果、市場への供給状況等を踏まえ、追加の可否、追加する場合の判断の基準等について検討を実施してはどうか
- ※ 併せてエコマーク認定基準を満たすこと等を判断の基準とする提案

③ 食器【その他】

- ➡ 樹脂製リサイクル食器、磁器製リサイクル食器。国等の機関における調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

（2）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

① 紙製の文具、白板紙・色板紙を使用した紙製の文具【文具類】

- ➡ 紙製の文具全品目について印刷用紙の判断の基準の引き下げに準じて、古紙パルプ配合率に係る判断の基準を引き下げるべきとの提案
- ➡ 白板紙を使用した品目（消しゴムのスリーブ）、色板紙を使用した品目（ファイル、ファイル関連品目など）について古紙パルプ配合率に特化した判断の基準の見直しを検討すべきとの提案
- ➡ 古紙の需給環境、文具メーカーの古紙パルプ配合製品の市場への供給状況、今後の見込み等を踏まえ、判断の基準等の見直しの必要性及び見直しが必要な場合の優先順位等について検討を実施してはどうか
- ➡ **資料4**に示した印刷用紙専門委員会における検討状況を注視しつつ、見直しに係る検討を実施してはどうか

② 電子式卓上計算機【オフィス機器等】

- ➡ 電子式卓上計算機について、現行の判断の基準の「再生プラスチックがプラスチック重量の40%以上」に加え、「環境負荷低減効果が確認されたバイオマスプラスチックの使用」を追加すべきとの提案
- ➡ 再生プラスチック又はバイオマスプラスチックを使用した製品の市場への供給状況及び今後の見込み、競争性の確保等を踏まえ、判断の基準等の見直しの必要性について検討を実施してはどうか

（2）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

③ 印刷【役務】

- ➡ 印刷に係る判断の基準を2段階の基準とし、基準値1として印刷事業者の環境配慮への取組を評価すべきとの提案（基準値2は現行の判断の基準）
- ➡ 本年度の印刷用紙専門委員会における印刷用紙に係る判断の基準等の見直し検討の状況、印刷事業者の環境配慮への取組の対応可能性等を踏まえ見直しの必要性について検討を実施してはどうか

④ 食堂【役務】

- ➡ リサイクルに適していると認められるペットボトル等はワンウェイのプラスチック製の容器等から除外すべきとの提案
- ➡ 食堂において使用する洗剤に関する基準等を設定するとともに、石けんの使用を推進すべきとの提案【昨年度の提案】
- ➡ 前者については、ペットボトルのリサイクルの状況（Bottle to Bottle等）、今後の見込み、食堂において提供されるプラスチック製の容器等の実態を踏まえ、判断の基準等の見直しの必要性について検討を実施してはどうか
- ➡ 後者については引き続き検討を実施

（2）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

⑤ 会議運営【役務】

- ➡ 飲料を提供する場合に、現行の繰り返し利用可能な容器等の使用に加え、リサイクルに適していると認められるペットボトルを追加すべきとの提案
- ➡ 現行の判断の基準においては、ワンウェイのプラスチック製の製品及び容器包装を抑制する観点から設定しているところ。会議運営における適切な飲料の提供方法等の考え方を整理し、判断の基準等の見直しの必要性について検討を実施してはどうか

（3）分野横断（運用の仕組み）の提案

- バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用した製品【すべてのプラスチック製の品目】
 - ➡ 原料としてバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックをすべてのプラスチックを使用した品目（バイオマスプラスチックに係る判断の基準等を設定している品目に限定しない）に導入してはどうかとの提案
 - ➡ プラスチックを原料とする品目に対してバイオマス由来特性を割り当てるための具体的要件、運用方法、確認方法等に関する検討を実施し、導入に向けての課題の整理とともに、その可否等を判断してはどうか
 - ➡ バイオプラスチックの導入に向けた環境側面からの要件等の検討と併せて実施してはどうか
 - ➡ 検討に当たっては、以下を参考として検討を実施してはどうか
 - ✓ 令和4年度に環境省リサイクル推進室が設置した「マスバランス方式に関する研究会」のとりまとめの「マスバランス方式を用いてバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックの考え方について」
 - ✓ エコマークの「エコマーク認定基準における『バイオマス由来特性を割り当てたプラスチック』の取扱方針」